

環境及び搬送関連事業

中計目標数値を大幅にクリア。廃プラスチック向け等の新たな需要増加が期待される中、収益性を重視しつつ、市場シェアの向上を目指します。

産業機器統括営業部
産業機器営業部長 兼
第二販売課長

小島 陽介



創出する価値

- 搬送事業が手掛けるコンベヤは、多様な搬送物を様々な傾斜角に対して、正確かつ安全に搬送します。
- 環境事業は、各種リサイクル設備、土壌浄化プラントやバイオマス関連設備、缶・ビン選別器等を手掛け、地球環境に優しい循環型社会の構築に貢献します。

価値創造の技術基盤

- コンベヤは、各モジュールを共通・標準化することで、10センチ単位で機長の調整を可能としています。お客様のカスタマイズを容易にしています。
- 競合を上回る短納期かつ低コスト化を実現することで、高い収益率を確保するとともに、累計出荷台数は30万台を超えています
- 環境事業は、当社独自の4つのコア技術（混練、加熱、搬送、制御）を活用し、顧客要求に応じた開発からメンテナンスまでの一貫体制を構築しています。

環境及び搬送関連事業の概況(2023年度)

事業概要	具体的項目
取扱製品	各種コンベヤ、各種環境リサイクル装置
顧客	廃棄物処理、土木建設業、各種製造業等
市場シェア	ポータブルコンベヤ国内シェア 64%
売上・地域構成比	売上構成比 8%（搬送 78%、環境 19%、サービス 3%）
営業利益率	24.0%：コロナ前の2019年度は21.3%
MS売上高比率	2.9%
生産拠点	明石本社工場

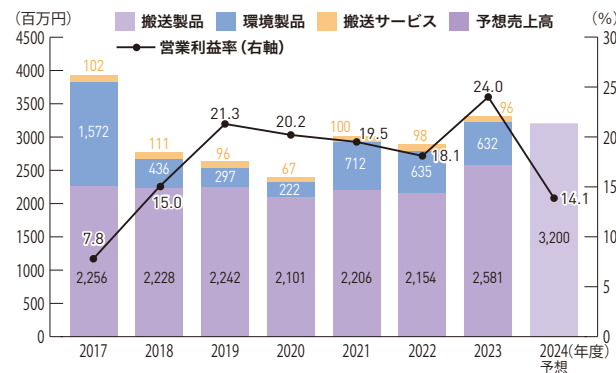
MS：メンテナンス・サービス

市場及び業績動向

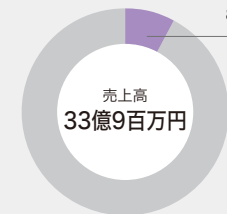
包装容器等の廃プラスチックに関するリサイクル法が強化されており、大阪や東海地域を中心としたリサイクル業者向け等にコンベヤの旺盛な需要が継続しています。

2023年度の受注高は、前年度比49.2%増の38億12百万円、売上高は同14.6%増の33億9百万円、営業利益は同51.9%増の7億93百万円（営業利益率24.0%）となり、中計数値目標を大幅にクリアしました。堅調な搬送事業に加え、万博関連や福島汚染土壌処理関連等の大口案件の売上計上、製品価格の引き上げ効果等が業績を押し上げました。2024年度は売上高が同3.3%減の32億円、営業利益は同43.3%減の4億50百万円（同14.1%）を予想しています。主に万博向け大口環境案件の終了が要因です。

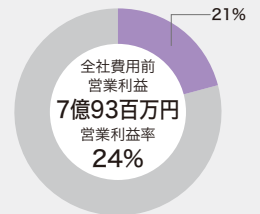
製品別売上高と営業利益率及び予想売上高



売上高構成比



セグメント利益構成比



市場環境の動向

事業機会

- 廃プラスチックや太陽光パネル、リチウム電池等の各種リサイクル法の強化（リサイクル設備の需要増加）
- 市場規模が大きい高剛性ストリンガーコンベヤ市場への参入
- 市場シェアの上昇
- 破碎機関連事業や製造請負関連事業との販売シナジー

リスクと課題

- 人材リソースの不足
- 環境関連事業における焼成技術
- 競争の激化
- 輸送費用の高騰（ただし、価格転嫁が可能）

中計の事業戦略

- ①ポータブルコンベヤのモジュール化とカスタマイズ対応
- ② Web サービスを活用した顧客との関係強化
- ③注力するストリンガーコンベヤの短納期かつ低価格提供及び拡販
- ④搬送ラインのエンジニアリング提案

中計の数値目標

	22年度	23年度	24年度予想	24年度中計
売上高	28億円	33億円	32億円	27億円
営業利益	5.2億円	7.9億円	4.5億円	5.5億円
営業利益率	18.1%	24.0%	14.1%	20.4%